

# ある日突然 社内公用語が英語に・・・！？

じわじわと進む日本企業の“英語化”

伊藤忠商事	若手社員全員に3～6ヵ月間の海外で語学研修
シャープ	研究開発部門の公用語を英語化
武田薬品工業	新卒採用の条件としてTOEIC730点以上
日産自動車	経営会議を英語で行う
パナソニック	2011年度から採用8割を外国人に
三井住友銀行	総合職は全員TOEIC800点以上を目指す
三菱商事	入社から2年以内にTOEIC730点を目指す
楽天	2012年度を目標に社内公用語を英語化
全日空運輸	TOEIC600点以上を昇進・昇格基準
日本IBM	TOEIC 課長は600点、次長は730点以上
トヨタ自動車	係長級は600点以上TOEIC努力義務
日立製作所	TOEIC 採用500点、課長650点、幹部800点
他多数	

※ 楽天（三木谷浩史）－英語ができない役員は2年後には首にします。

※ 三井住友銀行は、全行員1万3000人にTOEIC800点という高得点を求めると発表した。

※ センター試験など日本の「受験英語」は社会で通用する「使える英語」に直結していないのが現状。

※ なぜか日本は未だに日本でしか通用しない「英検」を数多く受けています。早く「TOEFL」「TOEIC」国際テストへの中学・高校・大学の参加と切り替えの意識革命が必要と思われます。